

今日のふたばママ...

今回は通級にたどりつくまでのママの経験談から“のり越えたからこそ気づけたことや笑顔の大切さ”などを感じ取っていただけたら幸いです♪



お知らせコーナー

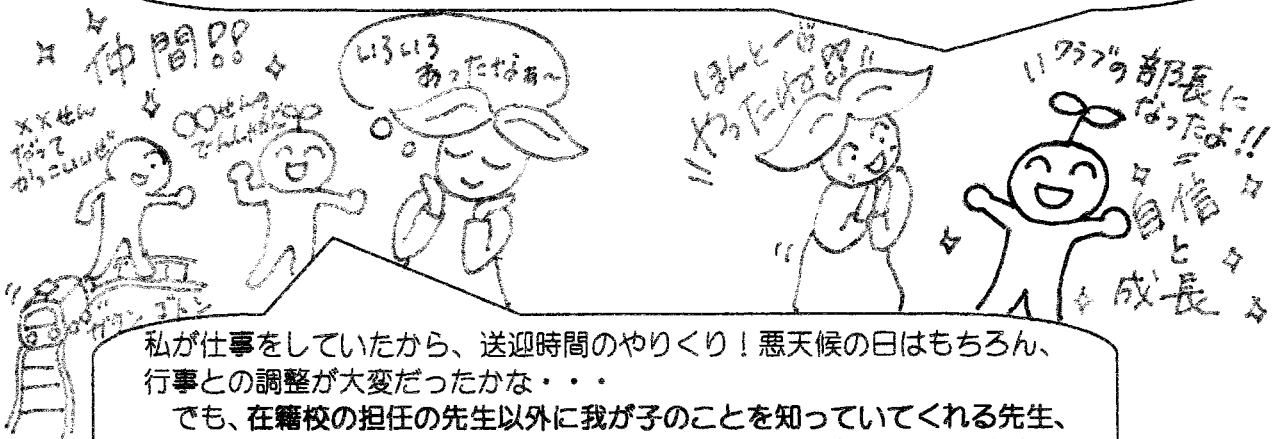
【Leaves】の活動を小学館の小学生保護者向け雑誌【edu(エデュ)】がとりあげていただきました！
テーマは「発達障がいかもしれない子の周辺の親子さんたちにどう知ってもらえば良いか」。読者から
たくさんの葉書が寄せられ、今回特集をすることになったそうです。ライターさんは緑野小学校のご協
力のもと、通級(ふたば学級)取材して細かなところまで理解を深めて記事を書いていただきました。
中川先生のお話とふたばママの活動、山田校長先生のお話が載っています！よろしくお祈りします♪
☆雑誌【edu(エデュ)】 4月号 <発売中> 小学館 定価 ¥ 680です！☆
♪狛江市立中央図書館にも置いてあるそうです！♪

インタビューコーナー

小学校卒業にあたり「6年間ふたばへ通級してどうだったか？」と息子にインタビュー。第一声「通って良かったあー！！」「ふたばではいろんな友達とたくさん遊べて楽しかったよ！！」「勉強ができて楽しかった！！ふたばは少人数だから集中してじっくり考えられるしいつもぼくが答えられるから授業が楽しかったし、だから色んな事が出来るようになったと思う！！」。自信満々の回答に思わず「やったねー！良かったね！！」と私も一緒に大喜び。

在籍クラスではみんなのペースについて行けず、いつも不安げだった息子ですが、ふたばの授業は、自分の“めあて”に沿ったきめ細やかな対応。だからこそ頑張れた事、そして出来ることが増えて自信を持てたことを息子なりに“ふたばの良さ”と実感したのですね。

人と同じように出来なくても、活躍できる出番がある事を信じて、あきらめずに“自分なりの挑戦”を続けていって欲しいなあとインタビューから感じました。
ふたば学級万歳！6年間ありがとう！



私が仕事をしていたから、送迎時間のやりくり！悪天候の日はもちろん、行事との調整が大変だったかな・・・

でも、在籍校の担任の先生以外に我が子のことを知っていてくれる先生、個別に指導してくれる先生がいて、親子ともに気持ちが悪われることもありました。子どもには「ふたば仲間」の友人も出来て、お互いに家を行き来する仲になったりしました。

編集後記

昨年の秋、軽度発達障害の四歳の息子を母親が殺害してしまうという事件がありました。その子に姉がいて、話を聞いてくれるご主人もいながら将来を悲観しての犯行で、その方はその後ずっと激しい動揺が続いているようです。暖かい家族がありながらもなぜそこまで追い詰められたのかと疑問が湧き、私が思ったことは『世間の発達障がいに対する理解の低さと偏見に我を失ったんだな』という事でした。大袈裟になるかも知れませんが【Leaves】はそんなことがないようにと願う気持ちも込めて作成しています。創刊して丸二年。少しでも読む方が増えてお役に立てればと願ってやみません。